

第210回7月定例教育委員会議事録

委員会次第

1. 開会宣言
2. 教育長あいさつ
3. 議事録の承認
4. 議題
5. 報告事項
6. その他
7. 閉会宣言

開会日時

令和元年7月29日（月）午後3時00分

会場

安来市役所 広瀬庁舎 会議室

出席委員の氏名

教 育 長	勝 部 慎 哉
委 員	三 輪 喜美代
委 員	加 藤 隆 志
委 員	岡 本 亮 啓
委 員	小 村 修 司

出席者の氏名

教 育 部 長	辻 谷 洋 子
教 育 部 次 長	青 戸 厚 志
学 校 教 育 課 長	成 相 和 広
文 化 財 課 長	大 谷 宏
教 育 総 務 課 主 幹	足 立 隆 博

1. 開会宣言

午後3時00分 教育長が開会を宣言する。

2. 教育長あいさつ

（教育長）梅雨が明けてとても暑くなった。この暑い中、今年の高校野球選手権大会の予選で、決勝戦をやっているのは全国であと4県、準決勝のところは2県、今日のうちに4県が決まる。昨日は島根ではすごい決勝戦だった。安来の子がベンチ入りしていたということだった。

3. 議事録の承認 第209回6月定例教育委員会

(承認)

4. 議題

【議案第12号 令和2年度使用小学校用教科用図書採択について】

—— 非公開 ——

【議案第13号 スクールバスの購入について】

(学校教育課長) 資料1により説明

(教育長) 山佐小学校で使用しているバスが古くなり買い替えないといけないというので、新たに1台購入をした。

(委員) マイクロバスは何人乗りか。

(学校教育課主任) 23人乗り。

(委員) 山佐小学校のみで使用するのか。

(教育長) 通常はそうだが空いていて依頼があった場合は、小さな学校規模だと校外学習や社会科見学に利用できるようにしている。

(教育部長) 今のバスは何色か。

(学校教育課主任) クリーム色。

(教育部長) 今度のバスの色は青と水色。白だと雪の中で見えにくいということで、色のついたバスにしている。

(承認)

【議案第14号 平成30年度安来市教育委員会点検・評価報告書について】

(教育部次長) 資料2により説明。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の行った事務の管理と事業を毎年点検・評価を行って、その報告書を議会とHPに公開することになっている。これについては、議会9月定例会議に提出したいので、皆さんに見ていただいて、気が付くことがあれば事務局に連絡いただきたい。

(教育総務課主幹) 意見があれば盆明けまでのところをお願いしたい。

(委員) 総合教育会議は関係があるか。

(教育部次長) 総合教育会議は総務課が担当課なので、教育委員会の報告からは外してある。

(教育長) ご覧いただき、何かあれば連絡をしていただきたい。

(了承)

【その他】

(教育長) 委員の皆さんから何か議題はあるか。

(委員) 昨今小学校ではプールの問題がある。全国的にも市の公営プールに委託して授業をするという学校がだんだん増えてきている。安来市も各小学校にプールがあるが、今後の方向性を考えたらどうかと思う。

(教育長) プールの現状だが、山佐小学校のプールでポンプが壊れている。今は修理しないで今年度は比田の勤労者体育センターのプールを使っている。以前にも底に穴が開いて100万円くらいかけて修理をした。その時もその年は使えず比田へ行っていた。今度はポンプが壊れたということで、これを修理するかどうか事務局内で検討している。水泳の授業については、スクールバスで比田まで行けば授業ができる。一番ネックは、夏のプール開放。これは学校教育ではなく保護者主催になる。学校教育でないのでスクールバスが使えない。保護者が連れて行くことになる。場所が離れて遠くなり、すごく悩みが多いところ。ポンプを直すと50万くらいかかるが、それでは済まないだろうと思っている。

プールのあり方について意見があればお願いしたい。なかなか難しい問題で、言われるように、公営プールに送り迎えをして、公営プールには指導員がいるので、教員の負担も減ると思うし、室内なので安全面とか指導の面とか、やりやすいということはあると思っている。

(委員) 公営プールだと1年を通じて使えるので、夏だけ集中してする必要もない。学校単位で調整してすることも可能となる。

(教育長) 去年は猛暑で、プール開放のために、毎日の消毒、暑くて使えないからと水をオーバーフローなどして、結局ほとんど使わずに終わってしまった。今年もそうなるのではと心配していた。

(委員) 夏休みのプール開放も一概にいらぬとは言えないが、私の子どもが小学生の時の時は、プール当番が2回くらいは当たった。皆さん働いているのでなかなか調整がつかず、じゃあ私が出ますという感じでやっていて、保護者の負担は大きい。いろいろ検討したほうがいいかと思う。

(教育長) 松江市はもともとプールがない小学校もあるので、公営のプールに通っている。夏休みのプール開放はないので、泳ぎたかったら保護者が連れて行くしかない。

(委員) 松江は、監視する保護者に対して蘇生法とか休み前にやるが、誰もが受講しているかというところでもない。本当に責任が持てるのかという議論がある。松江は監視を保護者がするのをやめたところもあるし、バイトで監視員を雇っているところもある。安来はそこまでやっていないと思うが、いずれ何かあった時に、保護者がどう責任を取っていくかというのはすごく問題だと思う。

(教育長) 小さな小学校は保護者の世帯数が少ないので、当番が回ってくるのが早い。それから先生の数も少ないのでプール管理も大変。少人数しかいないので先生の負担は大きい。

公営の施設に連れて行って、連れて帰るということで授業が成立するならば、教員プラス指導員がいるような形がいいし、屋内だとオールシーズンなので、

ベストな状態だとは思いますが、逆に費用が関係してくる。

今の安来の室内プールはかなり古い。新しくなって、市内の子どもたちが授業もプール開放もできるようになればいいと思う。そうすると、保護者の負担も減るし、先生の負担も減るし、子どもは泳ぐ機会を得られる。今の維持管理する費用の範囲の中で委託ができれば、経済的にも安く上がっていいと思う。今現在は正直なところでは、広瀬の山佐と布部と比田とこの3つは、比田のプールで何とかならないかなと思っている。ただ、保護者と校長先生が話して下さっている中では、学校にプールがあると、子どもが自然に集まってきて、子どもたちが遊べる場所になっていて、それがなくなると困るということ聞いた。

直近では、山佐小学校のプールをどうするのかということが出てきている。

山佐は14世帯くらいしかいない。保護者のプール当番の回数がとても多い。

(委員) プールの授業は必須か。

(教育長) 必須です。

(委員) さくら総合スポーツクラブにはプールがあるが、昼間は利用率が低いので、そういったところに授業が入るのはいい考え方もかもしれない。夕方から、スクールの人たちや一般の人が来るので、昼間は空いているし相乗効果はあると思う。学校のプールを使うのが一番いいが、いろいろ状況を見ると、そうせざるをえないかなという感じがする。

(教育長) 授業で使うのは、多い学校で12時間くらい。でも12時間やる学校はほとんどない。

(委員) 12時間は必修か。

(学校教育課長) 一単元大体それくらい取り組んでいる。あとは天候に合わせて、天候がいい時は予定通りにいくし、ダメな時は9、10時間になる。

体育の授業だけでは、泳ぎを身に付けさせることはできない。水泳の授業は水難事故から身を守る、命を守るために泳ぐということもある。大きい学校にいと、体育の時間には泳げるようにはならないので、夏休みの第一週を使って、泳げない子どもたちを対象に教室をしていた。最低25メートル泳げるようにすることを大事にしている。

(教育長) プールの管理と夏の猛暑、保護者の負担、先生の負担、この兼ね合いをどうするか。あとは送迎をどうするか。

(学校教育課長) さくら総合スポーツクラブのプールには、インストラクターの方もいるのか。もしそうだとしたら、それは大きい。

(委員) 常駐の職員もいるが、夕方にはスクールの方も来る。

(学校教育課長) 教員は指導者が増えることで、さっきの話で、体育の授業だけではとても無理だよというのを、専門的に教えてもらえるし、それからスタッフが多くなるということで、泳げるようになる確立は格段に上がるので、そのメリットはある。

(委員) どこかで試行してみるというのもいいかもしれない。実際に空いているのもったいない。

(教育長) 送迎バスが2台あるので、利用させてもらおうと小さな学校は一緒に行ってもいい。

(委員) すごくいいかなとは思いますが、自分が小さい学校に勤務していた時に、このようなことを校内で相談したことがあって、送り迎えの時間はどうするのかというのがすごく問題になった。回数としては限られた回数しか外に行けない。結局1時間のために、もう1時間、1.5時間いるようになると、何の時間なのという話になり、体育の時間は1時間しかしなかったが、あとの2時間はどんな扱いなのかというのがあった。その部分の問題が解決されれば、その方向がともいいかと思う。

(教育長) どこもというわけにはならない。可能性があるとするれば、100人未満の学校。市内11校は100人未満。そのうちの7校、山佐、布部、比田、赤屋、井尻、飯梨、宇賀荘、これらは50人未満。7校は可能と思う。今言われたように、比田まで行く時間がロスになるので、そこは考える必要がある。

(委員) もしそういうことになったら、その時間、先生方は絶対引率はしないといけないのか。

(教育長) 絶対しないといけない。

(委員) 教員は指導員がいるから、着替えてやらなくてもいいのか。プールサイドにいるくらいか。

(学校教育課長) 人にもよると思うが、一人でも多いほうが、子どもたちは泳げるようになると思うので、監視員の人に上から見てもらって、教員は中に入ることができるし、そこは相談。技術的なことはインストラクターにお願いした方がいいと思う。学校によっては、教員は勉強になるので、スイミングスクールからインストラクターを呼んで水泳教室をやるところもある。

(委員) 今後検討をよろしくお願いしたい。

(教育長) プールについて、今後検討していく。

5. 報告事項

- 1) 安来市小中学校通学区域検討委員会について
- 2) ALTについて
- 3) 中国地区市町村教育委員会連合会研修大会について

6. その他

- ・新安来工業団地整備事業について

☆次回定例会：8月21日（水）午後3時00分

7. 閉会宣言

教育長が午後4時20分閉会を宣言し、7月定例委員会の日程を終了した。